



技能五輪への挑戦

前任地の魚沼テクノスクールは、S42年に建設系専門校として設立された職業能力開発校で、現在、電気施設科（電気工事科）、建築科（木造建築科）および左官科（左官・タイル施工科）を実施しています。

当校は、新潟県内でも有数の豪雪地域であり、これと言って大きな産業がないこと等により、建設系を中心とした訓練科目で運営されてきましたが、数年前から入校生の減少が始まってきました。

その頃、平成15年度に技能五輪全国大会を新潟県で開催することが決定しました。

新潟県ではこの大会に向けて、県内テクノスクールの在校生を参加させようと検討を行い、当魚沼テクノスクールにおいては、平成13年度から「左官職種」に、平成15年度から「建築大工職種」に出場しています。

その成績は次表のとおりです。

在校生の成績

年度	開催県	出場数		成績			
				金	銀	銅	敢闘
13	福島県	左官	2			1	1
		建築					
14	熊本県	左官	2		2		
		建築					
15	新潟県	左官	3		1	1	1
		建築	2				2
16	岩手県	左官	1		1		
		建築	2			1	
17	山口県	左官	2	1		1	
		建築	3				
18	香川県	左官	3		1		1
		建築	2				
19	千葉県	左官	1				
		建築	1				1
合計		左官	14	1	5	3	3
		建築	10	0	0	1	3

以前から、修了生または企業在職者の選手へは指導を行ってきましたが、在校中の入校後1年半くらいの生徒を出場させるのは大変でしたが、良い結果を出してくれました。

おかげで、技能五輪に出場したいという目的を持って入校する生徒もおり、PR効果はあると思っています。

その他に次のような効果が期待できます。①全体の技能レベルをアップすることができ、業界が期待する生徒を送り出すことができる。②目的を持たせることにより、自ら進んで訓練に取り組むようになる。③他の生徒に対し相乗効果が期待できる。④多くの方に協力してもらいにより、協力して作業を進めることの重要性を認識させることができる。⑤選手には、協力してくれた人たちに対して、感謝の気持ちを養わせることができる。⑥指導する職員および全職員のレベルアップとともに協力体制を図ることにより職場全体のチームワークにも良い結果となっています。

今後も、「技能五輪への挑戦」を続けることが、ものづくり技能の継承の一翼を担うことにつながるものと思っています。

せと よしかず

略歴

1973年	新潟県立新潟高等職業訓練校	建築科	指導員
	(現 テクノスクール)		
1980年	新潟県立魚沼高等職業訓練校	建築科	指導員
1983年	新潟県立新潟高等職業訓練校	建築科	指導員
1989年	新潟県立新潟高等職業訓練校	建築科	主任指導員
	(1991年 新潟県立新潟テクノスクールに改称)		
1994年	新潟県立魚沼テクノスクール	建築科	主任指導員
1997年	新潟県立新潟テクノスクール	開発援助課	主任指導員
1999年	新潟県庁職業能力開発課	指導係長	
2003年	新潟県立魚沼テクノスクール	訓練第1課長	
2006年	新潟県立魚沼テクノスクール	校長	
2008年	新潟県立三条テクノスクール	校長	